

事務事業名		荒廃農地の発生・解消状況調査事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	農業委員会	担当課	農業委員会
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農地調整係		担当課長名	墳本隆男
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 農地の有効利用					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
		一般	6	1	1						
	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	荒廃農地の発生・解消状況調査要領				
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		義務的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		検査・調査事務			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
平成20年度に耕作放棄地全体調査要領が示され、市内全域の耕作放棄地の調査を行うこととなった。また、平成21年度に農地法が改正され、農業委員会が農地利用状況調査を行うこととなり、合わせて実施している。さらに、平成24年12月に要領が改正され、荒廃農地の発生・解消状況調査という名称となり、取りまとめは農政課が行い、農業委員会は利用状況調査と併せて調査を行っている。	荒廃農地の発生・解消状況調査 農地利用状況調査 実施時期 10月～11月 調査員 95人(農業委員・農業委員会協力員等)						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	農地の面積	ha	5,073	4,754	4,729		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

荒廃農地	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	荒廃農地面積	ha	131.1	137.0	132.0		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

耕作放棄地を解消し、農地の有効利用を図る。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	荒廃農地の解消面積	ha	5.6	△5.9	5.0		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

利用集積を積極的に行ってもらう。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	農地貸借面積(公社保有面積)	ha	1,081.6	1,131.7	1,050.0	1,100.0	1,150.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		0	0	0						
	事業費計(A)	千円		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
				0		0		0				
人件費	正規職員従事人数	人	7		7		7					
	のべ業務時間	時間	350		350		350					
	人件費計(B)	千円	1,362		1,379		1,379		0		0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,362		1,379		1,379		0		0	

事務事業名	荒廃農地の発生・解消状況調査事業	担当部	農業委員会	担当課	農業委員会	担当係	農地調整係
-------	------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	食料需給率の低下、農地が減少していく中、耕作放棄地の解消が社会的な問題となっており、農地の有効利用を図ることが緊急の課題となっている。平成20年度、耕作放棄地全体調査実施要領及び解消支援ガイドラインが示され、全国一斉に調査が行われた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成20年度に耕作放棄地全体調査要領が示され、市内全域の耕作放棄地の調査を行うこととなった。また、平成21年度に農地法が改正され、農業委員会が農地利用状況調査を行うこととなり、農地パトロールと合わせて実施している。さらに、平成24年12月に要領が改正され、荒廃農地の発生・解消状況調査という名称となり、取りまとは農政課が行い、農業委員会は利用状況調査と併せて調査を行っている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業統合・連携	農地利用状況調査、農地パトロール、荒廃農地調査を一緒に行うことでコストの削減を図ってきたが、今年度より農政課が主体となり、農業委員会は合同で実施することになった。今後、農業委員会が実施してきた調査は、利用状況調査に含めて調査を行い、機構集積支援事業に事業統合する。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	すべての荒廃農地を調査しその状況に応じて、「A」「B」に分類し、農地に復元可能な荒廃農地の所有者に意向調査を行い貸借の意向のある農地所有者の情報を農業公社と共有することにより利用集積に結びつけるよう誘導する。また貸借の以降のない農地所有者に対しては指導により、荒廃農地の解消を図った。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	法律等に定められた調査である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	荒廃農地の解消に努めていくことは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	荒廃農地調査は法律等に定められた調査であり、調査や集計の方法も決まっているため成果の向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 機構集積支援事業 農地利用状況調査、農地パトロール、荒廃農地調査をあわせて実施している。 旧・農地利用実施円滑化事業
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費の計上はなく、人件費内の業務であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	荒廃農地解消は国策であるため受益者負担はを求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			荒廃農地が解消される。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業統合・連携 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	